一 般 質 問 通 告 一 覧 表

質問順序	氏　　名	質問方式	質　問　日
１	伊　藤　素　明	一　括	１１月２７日
２	金　子　　遥	一　括	〃
３	滝　口　友　美	一　括	１１月３０日
４	山　口　順　平	一　括	〃
５	加　藤　大　嗣	一　括	〃
６	菊　池　雅　介	一　括	〃
７	杉　本　啓　子	一　括	１２月１日
８	岡　崎　　進	一　括	〃
９	木　山　耕　治	一　括	〃
１０	吉　川　ひ　か　り	一　括	〃
１１	阿　部　英　光	一　括	１２月２日
１２	新　倉　真　二	一　括	〃
１３	今　井　理　華	一　括	〃
１４	金　田　俊　信	一　括	〃
１５	藤　本　恵　祐	一　括	１２月３日
１６	長　谷　川　由　美	一　括	〃
１７	清　野　匡　志	一　括	〃

質問順番・氏名 （質問日・質問方式）		大項目		中項目		要旨 または 小項目及び要旨
1	伊藤　素明 （11月27日） 一括	1	香川駅周辺地区におけるまちづくりの推進に向けて	(1)	都市基盤整備と地域コミュニティー機能の創出について	・香川駅周辺では、歩行者の安全確保、道路環境の改善、交通動線の整理など、日々の生活に直結する都市基盤整備に関心が高まっているが、市道7115号線及び香川甘沼線のこれまでの取組によって、どのような進捗と成果があったと認識しているのか、また、何が課題として残っているのか市の見解を伺う。 ・香川駅周辺を生活拠点として捉えたときに、現在の歩行者、自転車、自動車の通行環境について、どのような課題意識を持っているのか、また、歩きやすさ、滞留しやすさ、乗り継ぎやすさを一体的に高めるため、駅前空間や周辺動線の在り方について今後どのように検討していくのか市の見解を伺う。 ・湘北地区にコミュニティセンターが設置されていないことにより、地域活動にどのような支障が生じていると市は認識しているのか。また、自治会、地区社会福祉協議会、子ども・高齢者関係団体などから、活動場所や施設利用に関する要望、相談はどの程度寄せられているのか、市の見解を伺う。
2	金子　遥 （11月27日） 一括	1	市民の生活環境向上について	(1)	スポーツ利用等における市内中学校施設の開放について	・中学校体育館の利用状況等について問う。
		2	市民の安全・安心について	(1)	地域の防災対策について	・浸水想定区域等における現在の対応状況等について問う。
3	滝口　友美 （11月30日） 一括	1	聴覚障がい者への支援について	(1)	茅ヶ崎市手話言語条例について	・県においては手話言語条例が制定されているが、茅ヶ崎市手話言語条例は制定されていない。県条例では、県の責務は示されているが、本市の各部署が何を担うのかまでは明確になっていない。県条例を実効性のあるものにするためにも、茅ヶ崎市手話言語条例の制定が必要と考えるが、本市の見解を問う。
		2	高齢者の聞こえの支援について	(1)	加齢性難聴の早期発見及び相談体制について	・聴力の衰えは認知症のリスクを高めるといわれている。本市における加齢性難聴の早期発見及び相談体制を問う。
				(2)	補聴器の購入費助成について	・補聴器は購入費が高額であるため、年金生活者にとっては大きな負担となる。高齢者が地域で安心して暮らし続けるための支援としての補聴器購入費助成について、本市の見解を問う。
		3	医療的ケア児支援法の改正について	(1)	医療的ケア児支援法の改正に伴う本市における支援の取組について	・医療的ケア児支援法が令和９年４月から改正される。支援の対象が医療的ケア児だけでなく、医療的ケア児者や重症心身障がい者及びそのご家族へと広がることに基づく本市の取組を問う。
		4	社会的孤立や社会参加について	(1)	本市における現在の取組と課題について	・制度による支援だけでは解決しにくい孤立や社会参加の課題に対する本市の取組を問う。
				(2)	本市におけるリンクワーカー導入について	・地域住民を医療、福祉、地域活動、居場所、ボランティア等につなぐリンクワーカーの考え方は、地域資源への橋渡し役の強化のためにも有効で、本市の既存事業を補完するものと考える。本市におけるモデル実施について問う。

質問順番・氏名 （質問日・質問方式）		大項目		中項目		要旨 または 小項目及び要旨
4	山口　順平 （11月30日） 一括	1	市民一人一人が主体的に関わる共創のまちづくりについて	(1)	市民参加条例に基づく取組の具体化について	・市民参加における具体的なテーマと対象の検討状況を問う。 ・若い世代や子育て世代の参加を広げるための参加方法に対する考え方を問う。
				(2)	市民や事業者の主体的な提案を生かす協働の仕組みについて	・サステナトレセンProject.における実現の経緯と市の関わりを問う。 ・政策提案を契機とした里山林再生ボランティア育成講座開催の経緯を問う。 ・協働の芽を育てるための市の役割と考え方を問う。
				(3)	市職員の対話及び協働を支える体制について	・顔の見える関係づくりの具体的な取組を問う。 ・市民との対話や合意形成に関する職員研修の実施状況を問う。 ・共創を進めるための職員研修について今後の考えを問う。
5	加藤　大嗣 （11月30日） 一括	1	３期目を迎える市長の所信について	(1)	茅ヶ崎市長選挙の結果について	・所感について伺う。
				(2)	今後の市政運営について	・市民に寄り添う市政運営について伺う。
6	菊池　雅介 （11月30日） 一括	1	市民が安心して利用できる道路環境について	(1)	夜間等における通学路の安全対策について	・住宅や事業所が少なく、人や車両等の交通量もさほど多くなく、夕方から夜間にかけて、照度が不足している危険性の高い通学路について、本市における具体的な把握状況を問う。 ・危険性の高い通学路に対する安全対策の現況を問う。 ・農作物への影響の少ない照明器具の検討やその設置方法について問う。 ・通学路の指定及び認定に至る一連の手続等とその時系列について問う。
7	杉本　啓子 （12月1日） 一括	1	本市の防災訓練について	(1)	まちぢから協議会の防災部会と防災訓練等について	・専門性を持った防災訓練及びシステムの必要性と参加する市民の負担などの現状等について問う。
		2	市民ギャラリー等の廃止後について	(1)	廃止後から現在までの入札等の経緯と今後の対応について	・ネスパ茅ヶ崎ビル３・４階の貸付けにおける一般競争入札の条件及び結果などの経緯を問う。 ・入札の結果を踏まえた今後の市民への対応や行政側の説明責任などを問う。
8	岡崎　進 （12月1日） 一括	1	防災について	(1)	市長の考える防災都市について	・河川の拡幅や下水道耐震化などの整備について問う。 ・防災備蓄・消防設備体制の充実について問う。 ・ＡＩを活用した災害情報の収集・発信の強化について問う。 ・市民・地域・企業・福祉関係者等による共助の推進について問う。
				(2)	改訂された小・中学校の避難所運営マニュアルについて	・改訂されたマニュアルの運用について問う。 ・改訂されたマニュアルに基づく避難所の運営について問う。 ・在宅避難の促進と在宅避難者への支援について問う。
				(3)	集合住宅の防災について	・管理組合や住民に対する被災時の課題の共有及び啓発（普及）についてどのように進めているかを問う。
				(4)	津波避難訓練について	・令和８年11月７日に実施した訓練の結果に対する評価を問う。
				(5)	災害時の医療体制について	・三師会との初動体制強化を図る災害協定について問う。

質問順番・氏名 （質問日・質問方式）		大項目		中項目		要旨 または 小項目及び要旨
9	木山　耕治 （12月1日） 一括	1	選挙の執行について	(1)	選挙における電子投票の導入について	・令和８年11月１日投開票の茅ヶ崎市長選挙の予算執行状況と執行経費について問う。 ・電子投票に関する国や他自治体の動向と本市における導入に対する考え方を問う。
		2	児童クラブについて	(1)	待機児童の現状と今後の対策について	・待機児童の現状と今後の見通し、これまでの対策の成果と課題を問う。 ・待機児童ゼロに向けた今後の受け皿確保の方針を問う。
				(2)	児童クラブの運営環境と保育の質について	・学校施設の一時利用（タイムシェア）による運営を含め、児童クラブの施設・設備、運営体制及び保育の質の現状と課題を問う。 ・子どもが安心して過ごせる環境の確保に向けた市の考え方と今後の対応を問う。
10	吉川　ひかり （12月1日） 一括	1	食品ロスの削減について	(1)	本市における取組の現状について	・市が掲げた削減目標の達成に向けての取組について問う。
				(2)	今後の課題及び啓発の手法について	・近年のごみ処理の経費増加に加え、施設整備や最終処分場の使用期限を今後迎えること等に鑑み、食品ロス削減に関する市民への啓発の手法等について問う。
		2	乳がんの検診受診率向上に向けた取組及び啓発について	(1)	本市における取組の現状について	・検診受診率が低いことに対して、受診率向上に向けた現状の取組について問う。
				(2)	職域における受診状況の把握に向けた取組について	・職域での受診状況の把握及び手法について問う。
				(3)	40代に焦点を当てた市の検診の新しい形の可能性について	・検診バスを市内ショッピングモール等に設置し、若い年齢層が気軽に受診できる機会をつくる等、受診の促進に有効な手法の検討について市の見解を問う。
		3	教職員の働き方改革の推進について	(1)	教職員の人員不足に対応する取組について	・教員デビュー相談会の実績及び手法等について問う。
				(2)	新年度準備期間拡充の早期実現について	・４月１日から始業日までの準備日数が短いため、教職員の負担が増加している現状に対する市の見解を問う。 ・準備期間拡充の課題について問う。
11	阿部　英光 （12月2日） 一括	1	自治体ネットワークにおける情報セキュリティーの確保について	(1)	基幹業務システムの標準化に伴うセキュリティーについて	・セキュリティー対策の状況を市が確認・評価する体制とその充実に向けた考え方について問う。 ・セキュリティーの確保における国、市及び関係事業者の役割分担について問う。 ・国等からの情報提供及び専門的支援の活用について問う。
				(2)	職員が使用するパソコン及び業務システムのセキュリティーについて	・セキュリティーに対する教育・訓練の実施及び検証について問う。 ・職員がためらわずに相談・報告できる仕組みと各課の対応体制について問う。 ・全庁的な対策を支えるセキュリティー担当の設置による推進体制の強化について問う。
				(3)	サイバー攻撃に備えた業務継続について	・既存の業務継続計画等におけるサイバー攻撃への対応の位置づけと全庁的な業務継続体制について問う。
		2	５歳児健診の導入と就学前の支援体制の充実について	(1)	就学前の子どもの発達支援における現状と課題について	・３歳児健診後から就学までの発達の確認と保護者を相談・支援につなぐ機会について問う。
				(2)	５歳児健診の必要性と導入に向けた検討状況について	・５歳児健診の導入方針と実施に向けた検討について問う。
				(3)	５歳児健診の実施に向けた財源確保と体制整備について	・令和９年度の実施に向けた国の補助制度の活用と財源・実施体制の確保について問う。
				(4)	健診後の継続的な支援と就学への連携について	・健診後の相談・継続支援を担う体制の明確化と関係機関との連携による就学後までの支援の引継ぎについて問う。

質問順番・氏名 （質問日・質問方式）		大項目		中項目		要旨 または 小項目及び要旨
		3	農業振興と障がい者の社会参加につながる農福連携の推進について	(1)	農福連携の意義について	・農業振興と障がい者の社会参加の両面から見た農福連携の意義について問う。
				(2)	農業経営上の効果を生み出す農福連携の推進について	・農業者の採算と利用者の工賃向上を両立する条件について問う。 ・農作業と福祉事業所の生産活動を両立するための課題について問う。
				(3)	国の方針を踏まえた地域の連携・支援体制について	・市内における運用状況を踏まえた関係部門・機関による支援について問う。 ・継続可能な取組の検証と横展開について問う。
		4	大雨時におけるアンダーパスの安全対策について	(1)	市内のアンダーパスにおける冠水対策の現状と課題について	・排水設備等の機能確保及び冠水時の車両進入防止に向けた対応体制の現状と課題について問う。
				(2)	冠水事故の防止に向けた今後の取組について	・県との連携による市内アンダーパスの安全確保及びＩＣＴを活用した迅速な情報提供の充実について問う。
12	新倉　真二 （12月2日） 一括	1	防災対策について	(1)	地域防災訓練について	・地域防災訓練の現状と展開について問う。 ・防災訓練における消防及び茅ヶ崎市応急手当普及協会との連携について問う。
		2	市役所駐車場について	(1)	渋滞対策について	・市役所駐車場等の利用状況を表示するサイネージの在り方について問う。 ・茅ヶ崎第２駐車場（市役所駐車場）の立体化について問う。
13	今井　理華 （12月2日） 一括	1	非常時における子ども・若者の安全・安心の確保について	(1)	平時の備えについて	・令和８年５月こども家庭庁発出の「非常時のこども・若者の意見反映等の手引き～平時から取り組むべきこと～」を踏まえて、災害時に子ども・若者の意見を聴き施策等に反映することへの認識について問う。 ・地域防災計画等に子ども・若者の意見を反映させることについて見解を問う。 ・災害時に子ども・若者のニーズを把握し、共有及び対応するための庁内体制整備について考え方を問う。 ・継続的に子ども・若者からの意見聴取を行い、学校や地域における防災教育等へ反映する手法及び実例を問う。
				(2)	災害時の取組について	・被災した子ども・若者に対する相談体制及びその周知方法を問う。 ・被災した子ども・若者が安心して意見等を伝えられる環境を確保することについて重要性と手法を問う。 ・避難所運営に関わる職員等に対する子ども・若者の非言語的表現を受け止めるための研修等の必要性を問う。 ・障がいのある方等の声を上げにくい子ども・若者への配慮について必要性と手法を問う。 ・災害時に聴取した子ども・若者の意見を整理及び検討を行う体制について問う。 ・災害時に聴取した子ども・若者の意見をフィードバックする手法について問う。
				(3)	復旧・復興時の取組について	・復旧・復興計画策定等の際に子ども・若者の意見を反映することについて考え方を問う。 ・復旧・復興の過程における継続的な子ども・若者からの意見聴取、反映、それらの検証及び活用等について手法と必要性を問う。

質問順番・氏名 （質問日・質問方式）		大項目		中項目		要旨 または 小項目及び要旨
14	金田　俊信 （12月2日） 一括	1	北茅ケ崎駅のバリアフリー化について	(1)	計画の概要と進捗状況について	・これまでの経緯と事業着手に至っていない要因を問う。 ・現時点での事業計画とその進捗状況を問う。
				(2)	今後のスケジュールについて	・実施計画2030における本事業の位置づけを問う。 ・完成時期の見通しを問う。
				(3)	周辺道路等、駅前空間の整備について	・計画概要と都市計画上の位置づけを問う。 ・事業に着手する時期の見通し等を問う。
		2	公共施設故障時の復旧迅速化について	(1)	茅ケ崎駅周辺のエレベーター及びエスカレーター等の停止期間が長期化する要因について	・故障の頻度と原因を問う。 ・復旧までの期間が長期化する要因を問う。
				(2)	公共施設の停止期間短縮化と再開の見通しを市民へ適切に周知することについて	・これまでに実施した取組を問う。 ・今後、停止期間を短縮することの必要性について見解を問う。 ・市民からの問合せ状況とその対応について問う。
				(3)	施設の老朽化や耐用年数を考慮した予防保全手法の採用状況と今後の課題について	・補修部品の調達期間を短縮化するための方策を問う。 ・故障リスクを見込み、調達に要する期間が長い部品を事前に調達しておくことの必要性について見解を問う。 ・駅周辺の空間や道路等、個別の補修対応だけではなく、景観等も考慮して適切に管理することについて見解を問う。
15	藤本　恵祐 （12月3日） 一括	1	市制施行80周年について	(1)	周年事業等について	・周年事業の具体的な構想等について問う。
				(2)	市民等との協働について	・周年事業を企画・実施するに当たり、市民等との協働をどのように進めるのかについて問う。
				(3)	中長期的な市政運営との連動について	・周年事業を中長期的な市政運営にどのように連動させ、生かしていくのかについて問う。
		2	認知症に関する市民等との協働について	(1)	認知症サポーターの養成及び活動支援等について	・認知症サポーターの養成及び費用助成を含めた活動への支援状況等について問う。
				(2)	企業等との連携について	・認知症施策に関する企業等との連携強化等について問う。
				(3)	課題と今後の対応について	・認知症に関する市民等との協働について現状の課題認識と今後の対応策について問う。
		3	サイバー攻撃への対処について	(1)	市が管理・運用する情報通信システムへのサイバー攻撃の状況等について	・サイバー攻撃の現状やリスク評価等について問う。
				(2)	外部委託先を含むサイバー攻撃への防御策等について	・サイバー攻撃への防御策や具体的な対応方針等について問う。
				(3)	課題と今後の対応について	・激化する昨今のサイバー攻撃を踏まえた課題と今後の対応策について問う。
		4	ハラスメント対応について	(1)	市職員に対するカスタマーハラスメントの防止について	・市職員に対するカスタマーハラスメントの状況や防止策の効果等について問う。
				(2)	庁内におけるハラスメントの防止について	・職員間でのハラスメント事案の発生と対応状況及び防止策等について問う。
				(3)	課題と今後の対応について	・ハラスメント対応に関する現状の課題認識と今後の対応策について問う。

質問順番・氏名 （質問日・質問方式）		大項目		中項目		要旨 または 小項目及び要旨
16	長谷川　由美 （12月3日） 一括	1	デジタル技術の活用による市民の利便性向上について	(1)	「書かない窓口」、「行かない窓口」などへの取組について	・現状と今後について問う。
				(2)	公共施設予約システムのリニューアルに伴い得られた成果と課題について	・リニューアルによって目指した成果について問う。 ・リニューアル準備、実施及び稼働後における課題などについて問う。
		2	ネスパ茅ヶ崎ビルの利活用などについて	(1)	ネスパ茅ヶ崎ビルの有効活用について	・利用しやすい施設とするための方向性について問う。
				(2)	市民ギャラリー一部閉鎖後の利用状況と文化活動の推進について	・文化活動における施設利用の現状と支援について問う。
17	清野　匡志 （12月3日） 一括	1	福祉に関する市民の相談窓口について	(1)	相談しやすい環境整備について	・分庁舎２階における相談しやすい窓口の環境整備について問う。 ・相談しやすい庁内レイアウトの在り方について問う。
		2	市役所周辺の安全対策について	(1)	総合体育館等周辺の歩行者の安全確保について	・総合体育館等の公共施設利用者の道路横断時等における安全対策について問う。
		3	ペットのマナーについて	(1)	散歩時のペットのマナーについて	・散歩時におけるリードの未着用、いわゆる「ノーリード」について、市の啓発等における取組を問う。
		4	予防接種事業について	(1)	予防接種による健康被害について	・予防接種記録の保存期間について市の考えを問う。